

グラフで見る関西経済(2021年7月)

2021年7月29日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナ*の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

【今月のポイント】

- 生産(5月)は2ヶ月ぶりに減少。電子部品デバイス、汎用・生産用・業務用機械などが減少した。関西の生産は自動車の影響が小さいため、全国に比べて落ち込みは軽微であり、総じて堅調な動きが続いている。
- 実質輸出(6月)は前月比-0.5%と4ヶ月連続で増加、高水準で推移している。
- 今年度の設備投資は、前年比増加が見込まれている。
- 財の消費を示す小売売上は、総じて弱含み。

項目	現状
景気全般	新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	増加している
設備投資	持ち直しの動きが見られる(↑)
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる
公共投資	横ばい圏で推移している

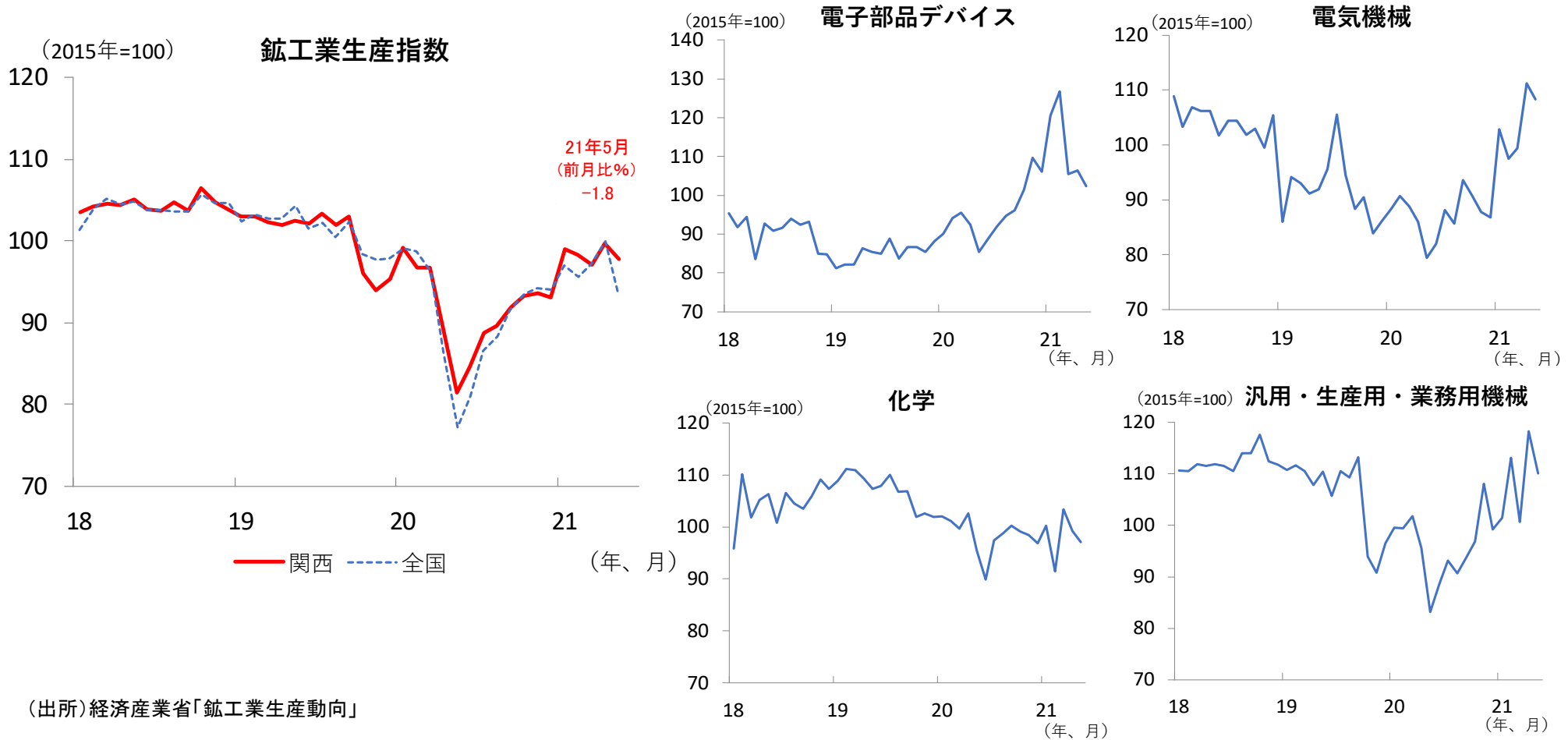
注: ()内は前月からの変化の方向

設備投資は、前月の「弱含んでいる」から上方修正(↑)

※従来は「新型コロナウイルス感染症」としていたが、今月より「新型コロナ」とした。

生産

5月の鉱工業生産(関西)は前月比-1.8%と2ヶ月ぶりに減少した。電子部品デバイス、電気機械、化学、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。全国は自動車の減産で低下したが、関西はその影響が少なく、小幅減にとどまった。

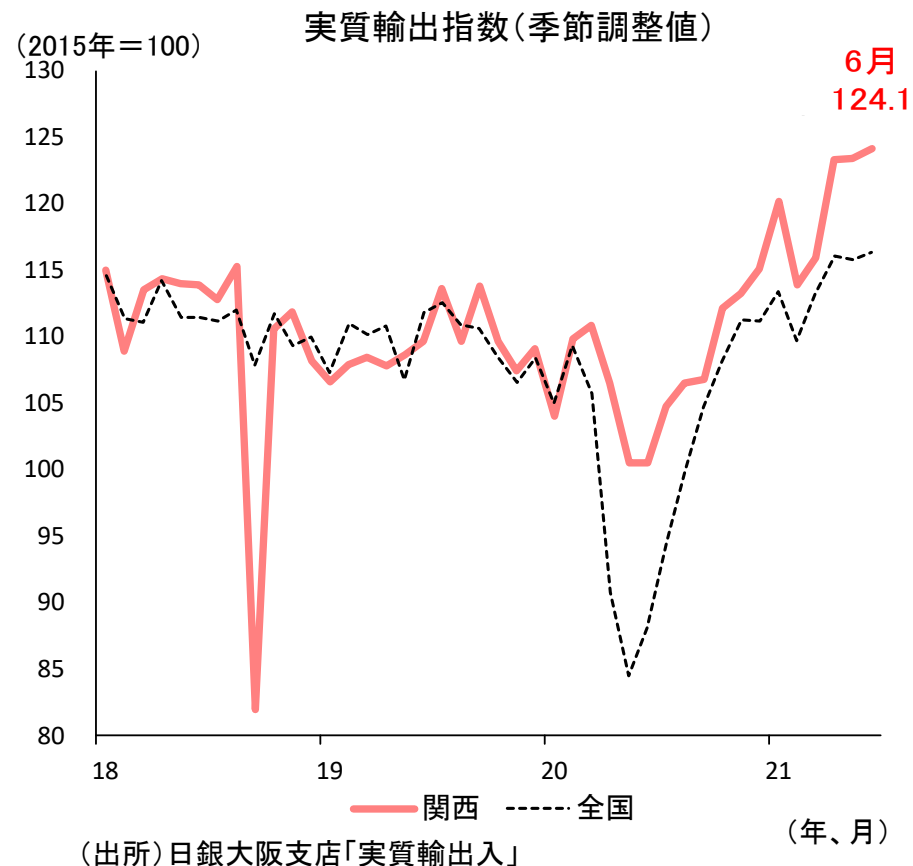
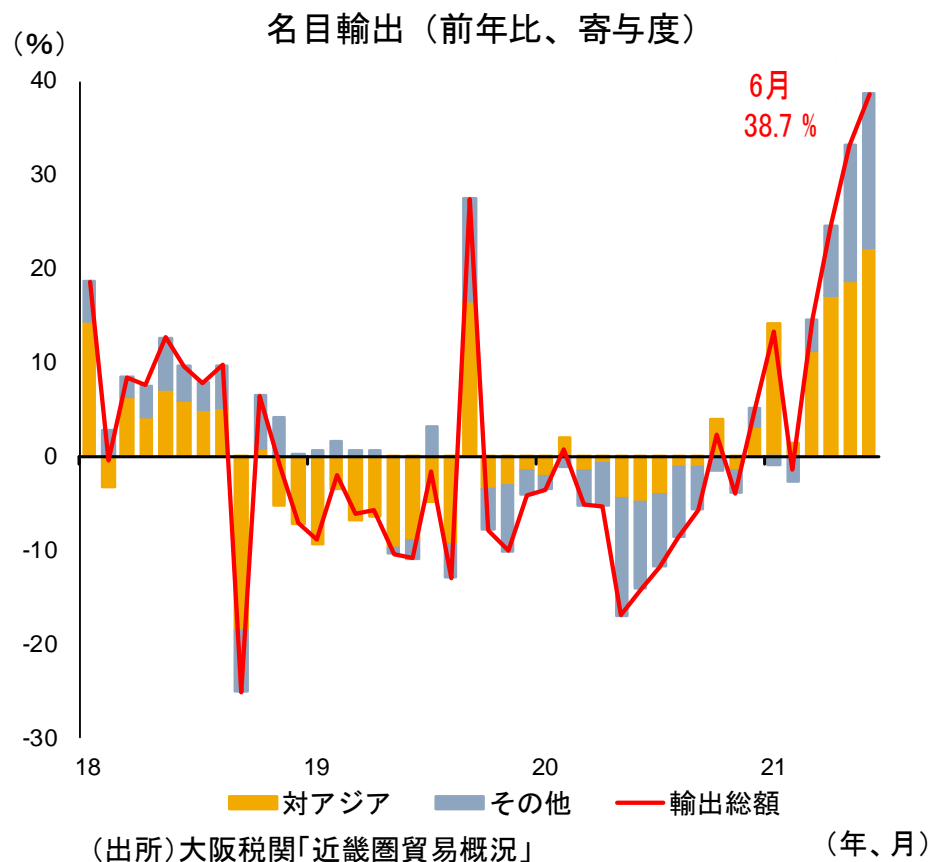


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

6月の名目輸出額は前年比+38.7%と4ヶ月連続で増加。地域別では、アジア、米国、EU、その他いずれれも増加した。品目別では、半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械などが大幅に増加した。

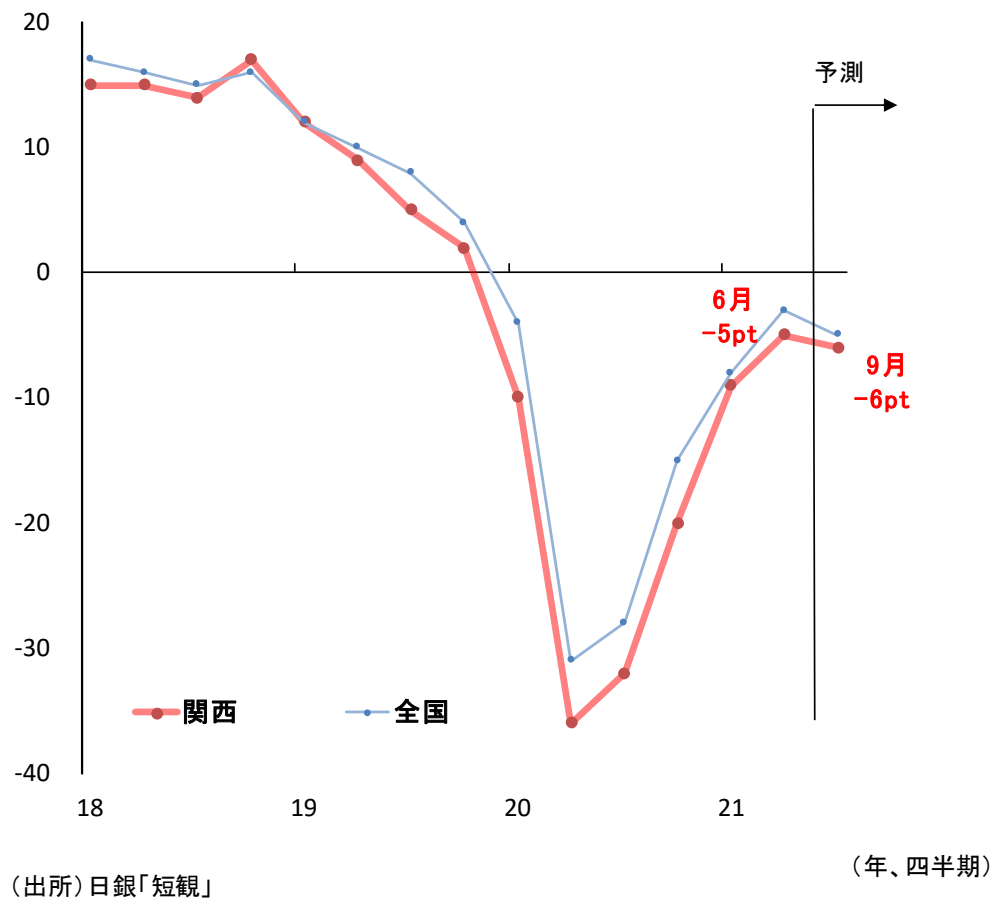
6月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+0.5%と4ヶ月連続で上昇、高水準で推移している。



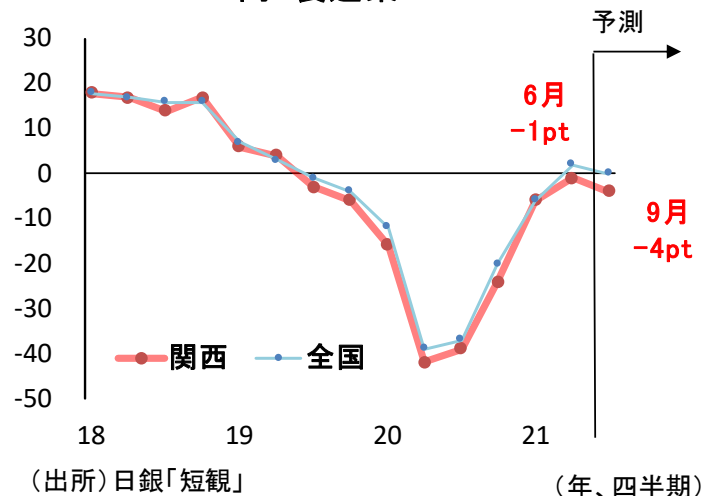
企業景況感(日銀短観)

日銀短観6月調査の業況判断DIIは全産業で-5ptと3月調査から改善。製造業は-1pt、非製造業は-9pt。先行き(9月)については、全産業、製造業は悪化、非製造業は改善が見込まれている。

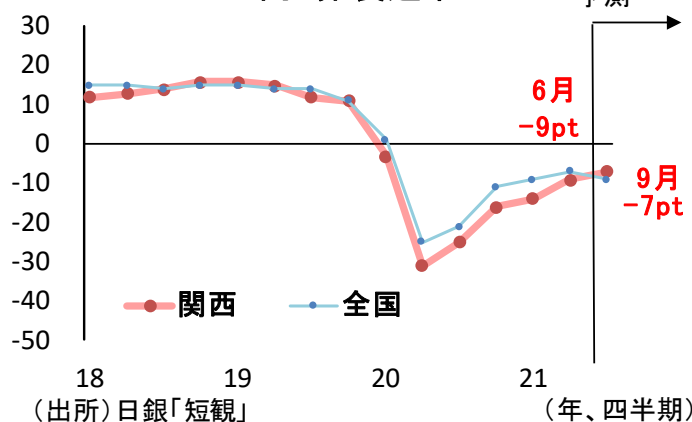
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

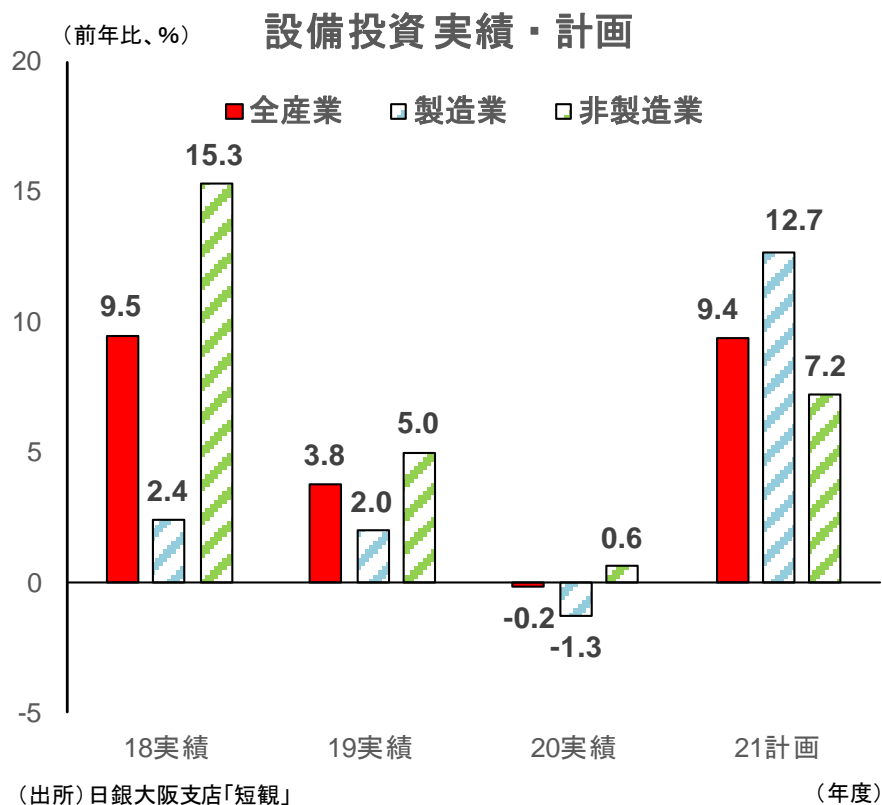


同 非製造業



設備投資

日銀短観6月調査によると、21年度の設備投資(計画)は前年比+9.4%と増加が見込まれている。3月調査時と比べて、製造業、非製造業、全産業いずれも上方修正となった。業種別では製造業は鉄鋼業以外は増加、非製造業は小売り、対事業所サービス以外は増加の計画となっている。



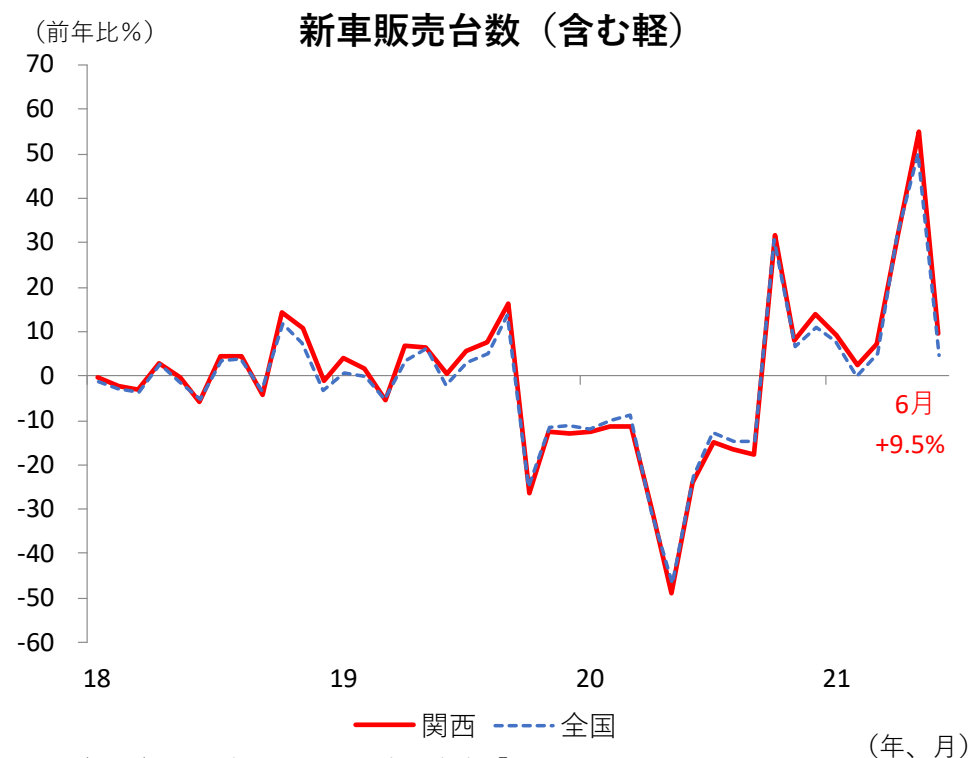
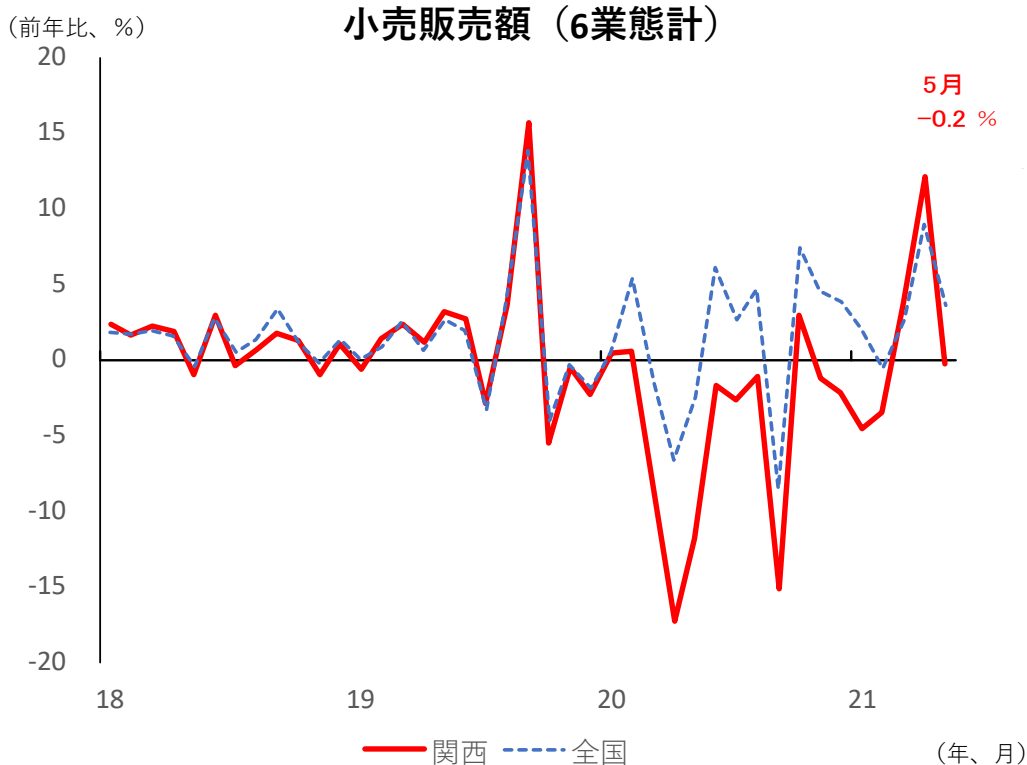
設備投資額(前年比%)

	20年度 実績	21年度 計画	
		今回	3月調査時 [差異]
全産業	-0.2	9.4	-0.2 9.6
製造業	-1.3	12.7	3.3 9.4
非製造業	0.6	7.2	-2.6 9.8

個人消費(小売売上、自動車販売)

5月の小売販売額は、前年比-0.2%と3ヶ月ぶりに減少(一昨年比では-12.1%)、低水準であった昨年
から一段と低下した。

6月の新車販売は前年の水準が低かったこともあり前年比+9.5%と9ヶ月連続で増加したが、一昨年比で
は-15.4%と基調は強くない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

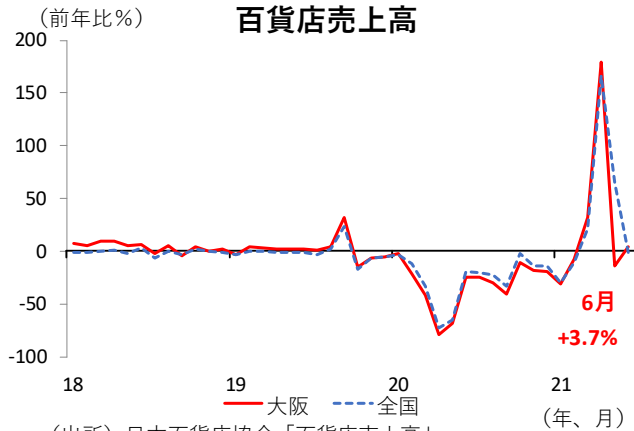
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

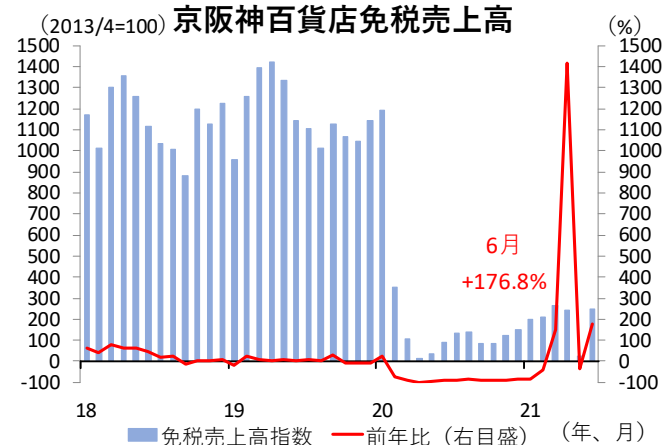
個人消費(業態別)

6月の百貨店売上(大阪)は前年比+3.7%と2ヶ月ぶりに増加したが(京阪神免税売上は同+176.8%)、一昨年比では大幅減が続いており、基調は弱い。

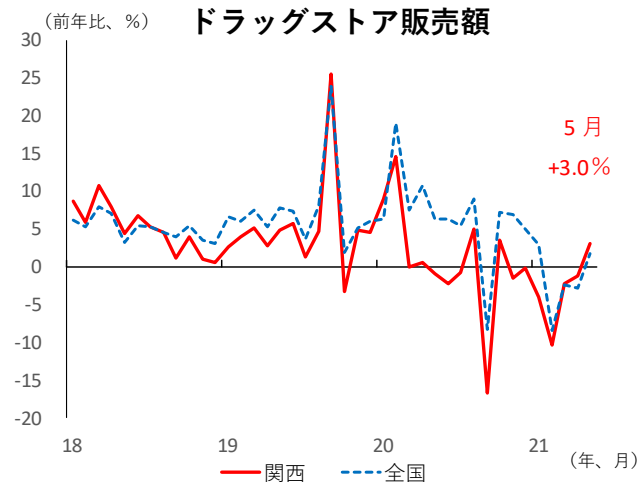
5月の家電は前年の水準が高かったことと緊急事態宣言下の外出控えで8ヶ月ぶりに減少した。



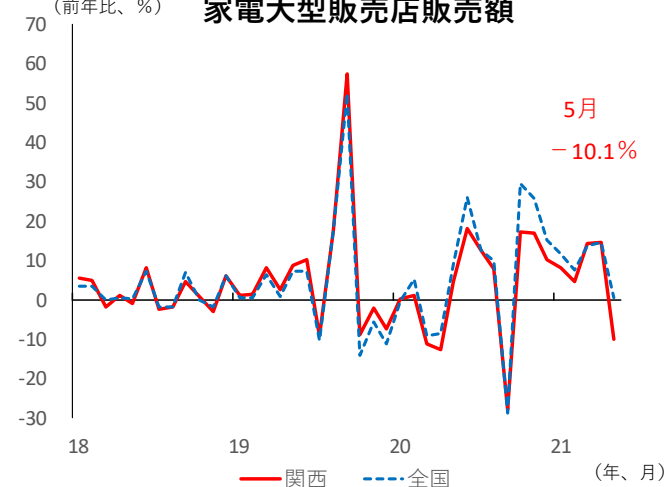
(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

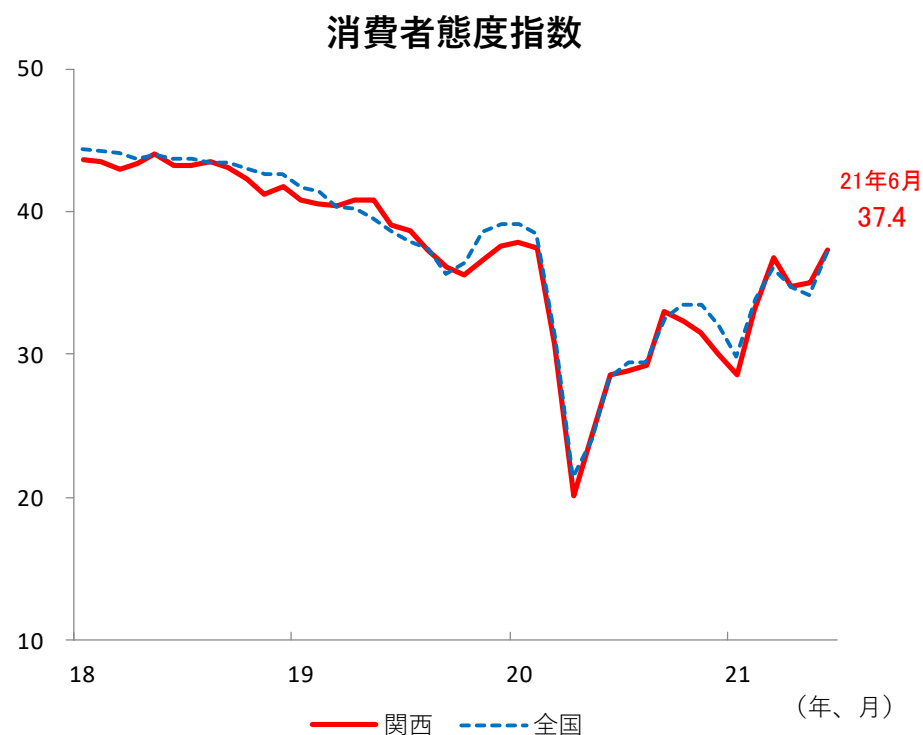


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

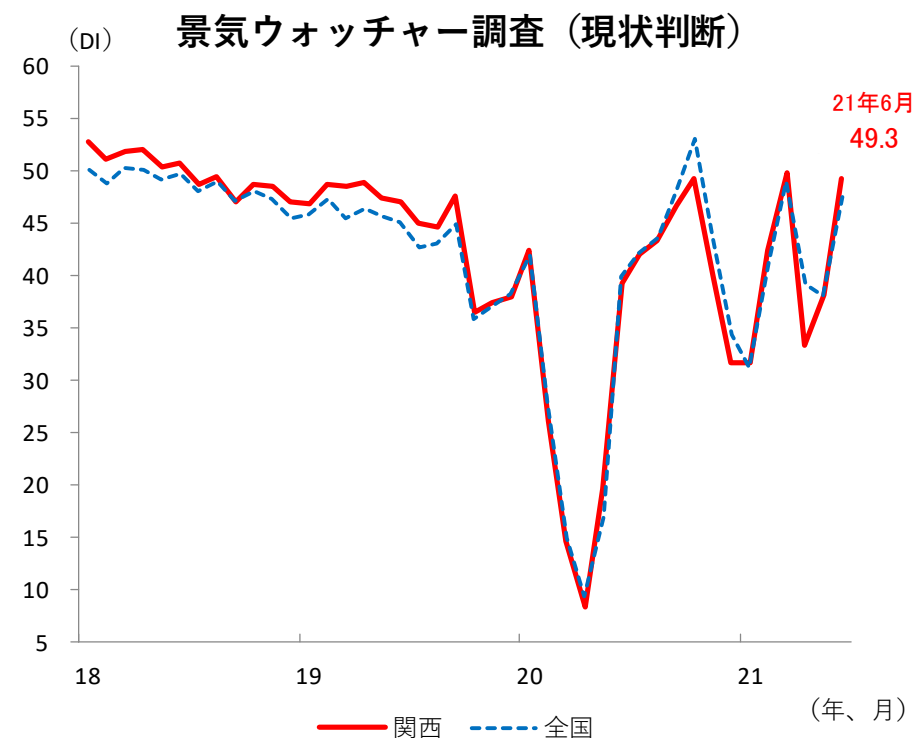
マインド・景況感

6月の消費者態度指数(季節調整値)は37.4と2ヶ月連続で上昇した。

6月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、6月の緊急事態宣言解除、ワクチン接種の進展により、前月差+11.1ポイントの49.3と2ヶ月連続で上昇した。先行きについては、ワクチン接種が進むことによる改善が期待されている。



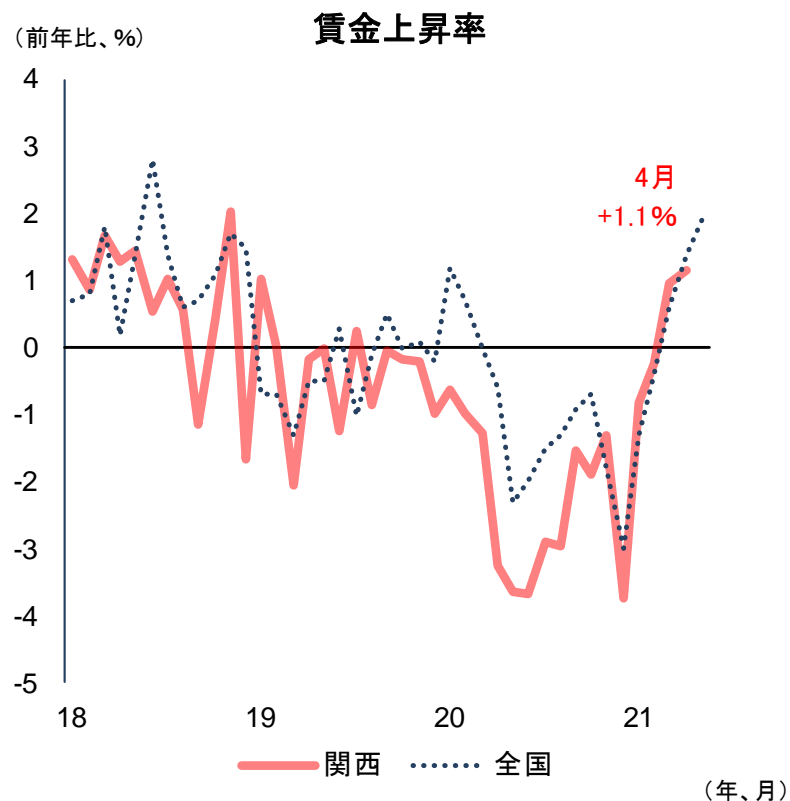
(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

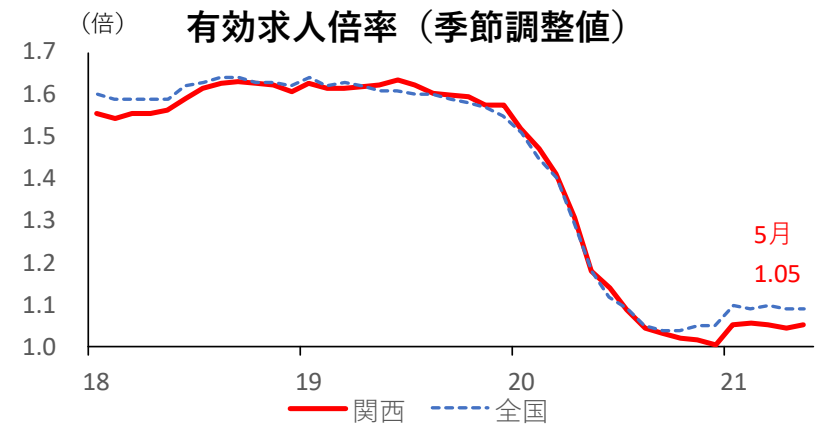
賃金・雇用

4月の名目賃金指数は、前年比+1.1%と2ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-2.1%と減少している。
 5月の有効求人倍率は1.05倍と前月(1.04)から小幅上昇。
 21年1-3月期の失業率は3.2%と前期から横ばい。就業者数は増加した。

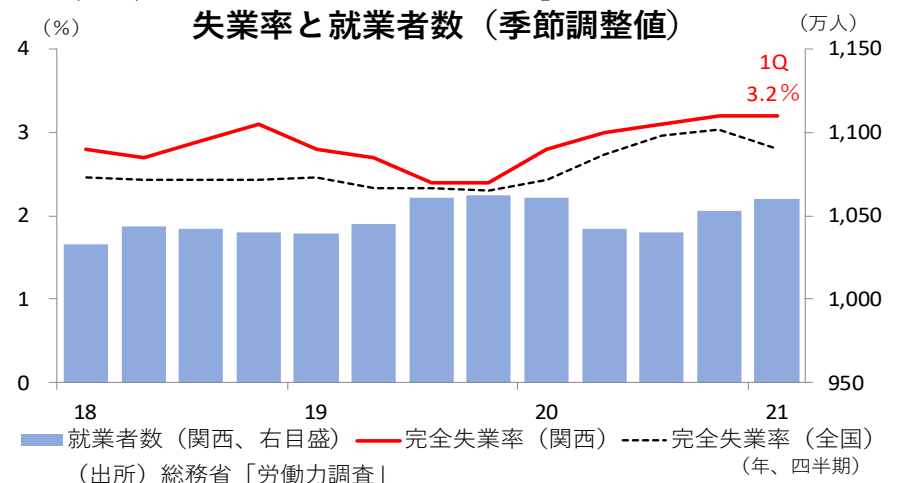


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

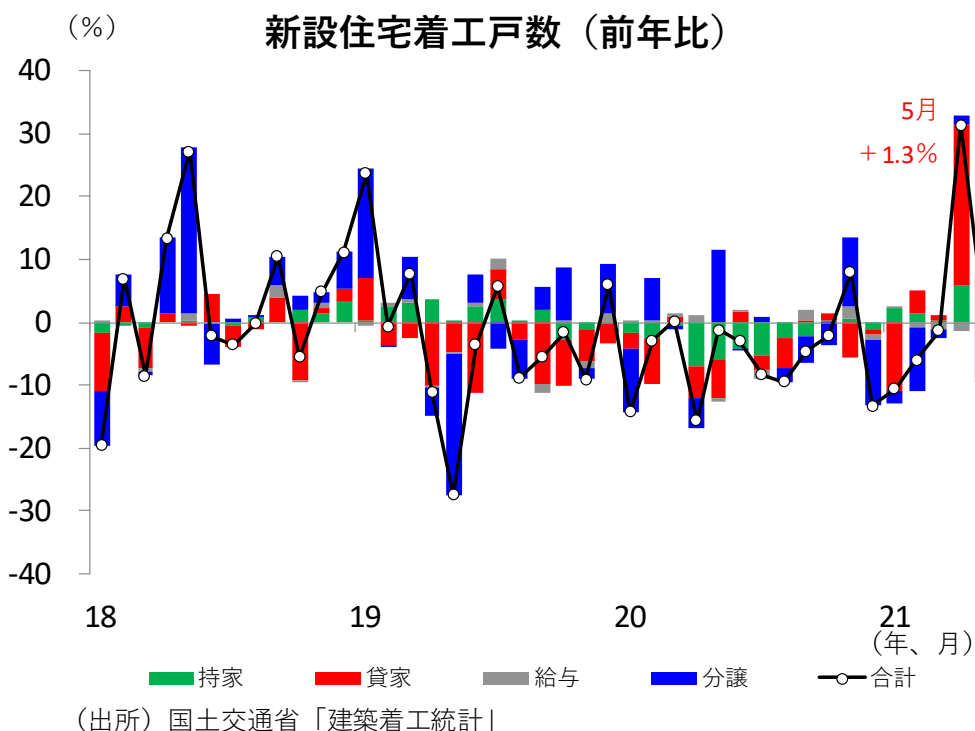
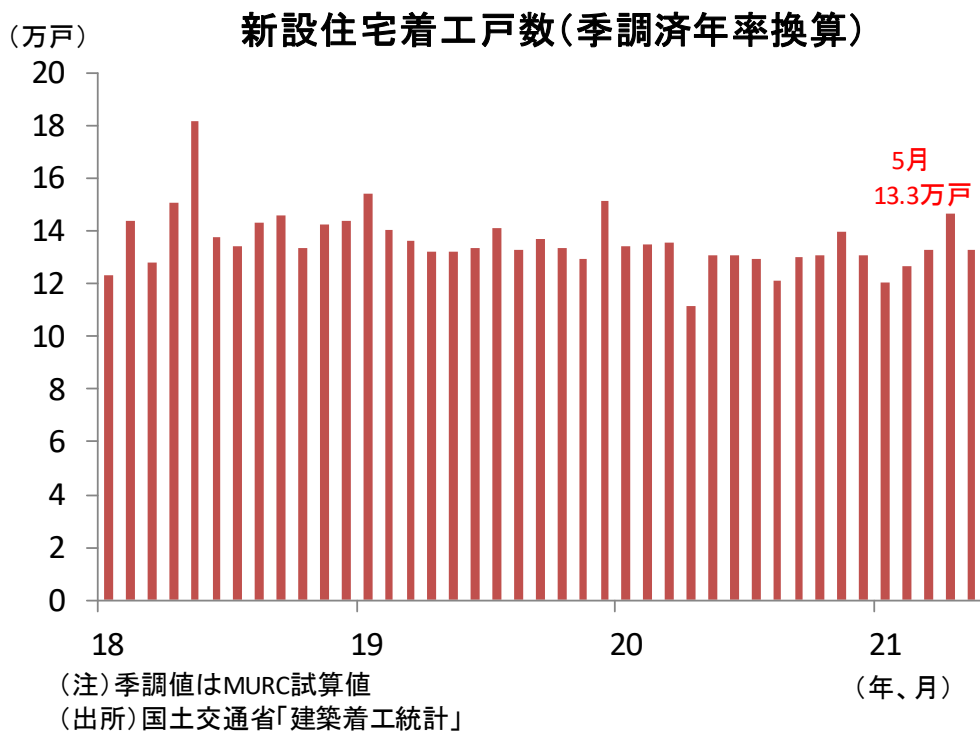


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



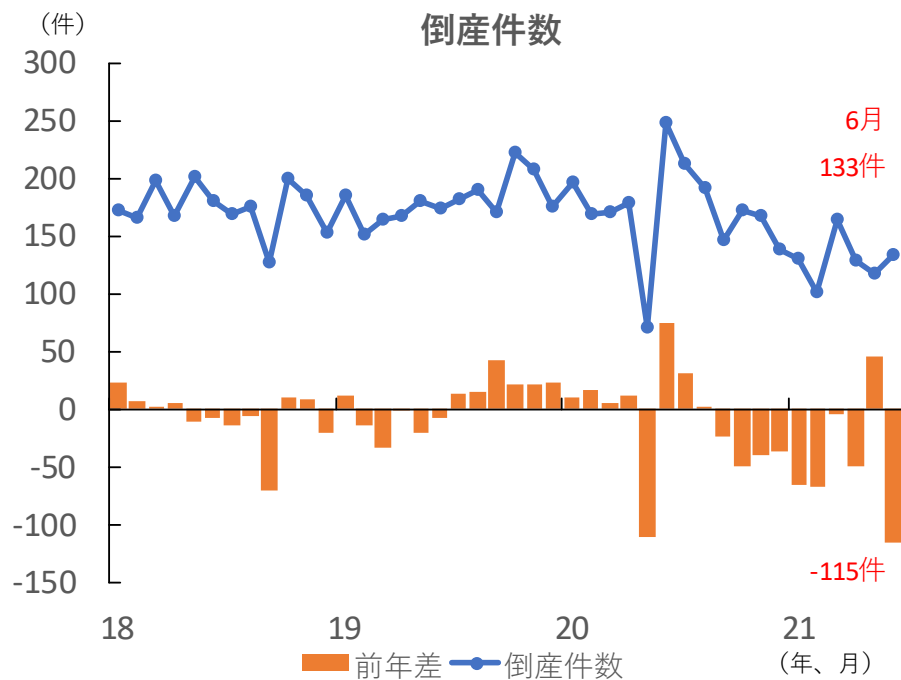
住宅投資

5月の住宅着工は季調・年率13.3万戸、前年比では+1.3%となった。分譲マンションが減少したが、持家、貸家が増加した。



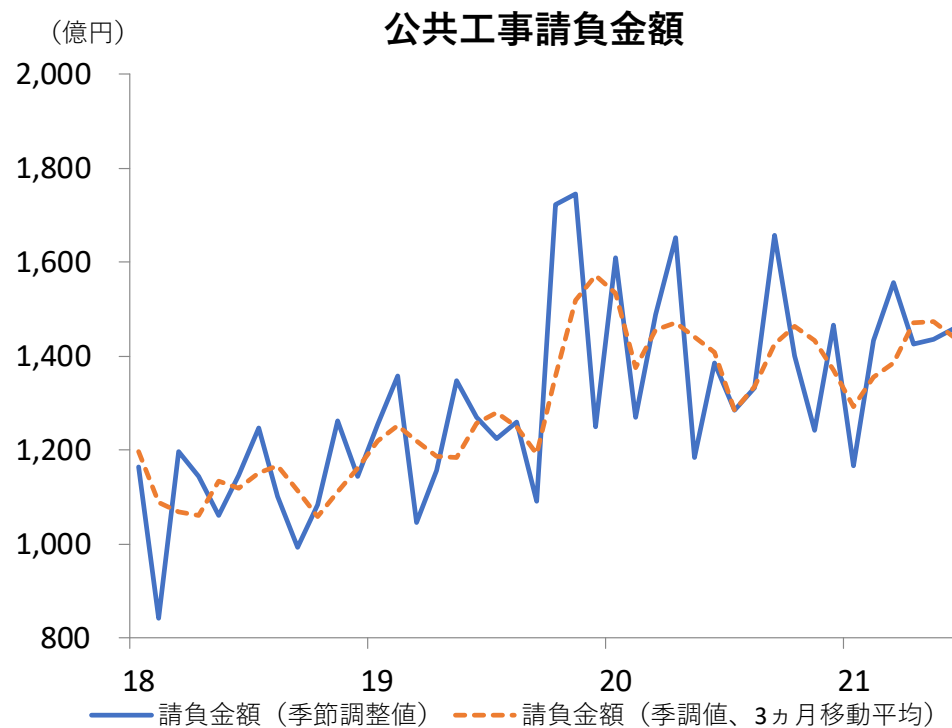
倒産

6月の倒産件数は133件と前年を下回り、低水準で推移している。



公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください